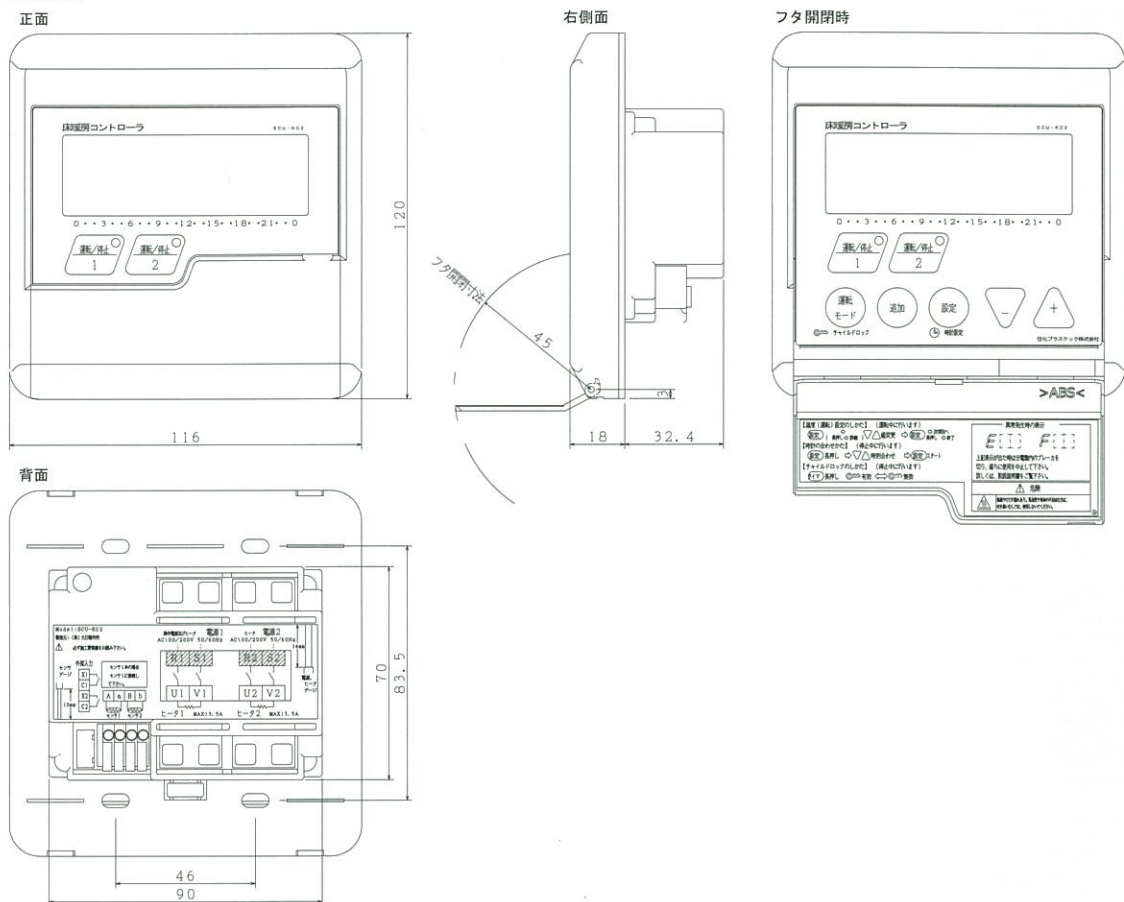


■外形図



住友化学グループ



住化プラスチック株式会社

住建機材部 床暖房グループ

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号
TEL 03(6837)9203 FAX 03(6837)9204

■販売店



床暖房用コントローラ SCU-KC2

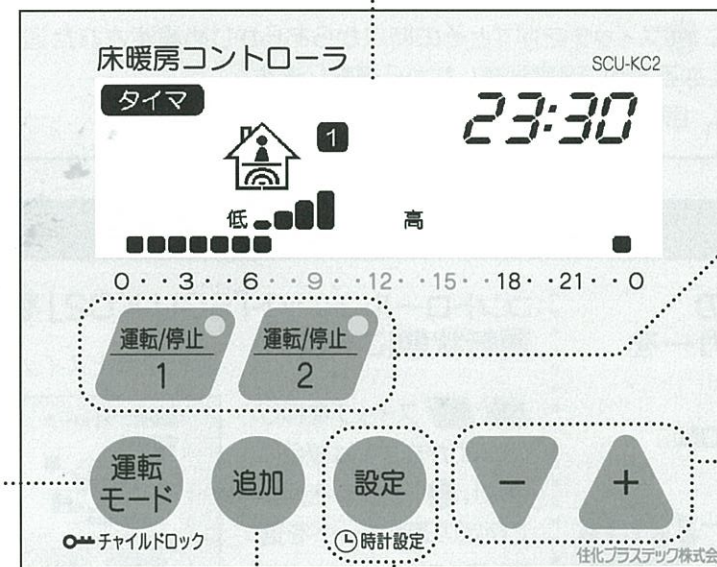
取扱説明書 保存版

このたびは住化プラスチック株式会社の床暖房システムをご採用いただきまして、ありがとうございます。床暖房システムを正しくお使いいただくために、ご使用になる前に必ずお読みください。本説明書は必ず保存し、ご使用中に万一分からない点や、調子の良くないときにご参照ください。なお、同封しております「スミターマルシステム」「スミウォーマー」取扱説明書も必ずお読みになり、正しくお使いください。

- もくじ
- ① …各部の名称と機能
 - ② …各運転モードの説明
 - ③ …運転開始操作
現在時刻の設定
チャイルドロックの設定
 - ④ …運転モード選択操作
「連続」運転モードの設定
「タイマ」運転モードの設定
 - ⑤ …「追加」運転の設定
 - ⑥ …「追加」運転の設定
 - ⑦ …故障時の対応

■各部の名称と機能

表示器
文字、数値、レベル表示で運転状態や各種設定内容を表示します



運転/停止 スイッチ
ゾーン1とゾーン2の運転、停止を行なうメインスイッチです。「運転ON」でボタン内表示灯が点灯します

+ キー
- キー
時刻設定や運転条件の数値変更等に使用します

運転モード スイッチ
運転モードの切替えに使用します

追加 スイッチ
「タイマ」運転時追加運転を行なう際に使用するスイッチです

設定 スイッチ
各種の設定用に使用します

各運転モードの説明

運転モードスイッチを押すたびに「連続」と「タイマ」運転が切替わり、表示器に表示されます。また、本コントローラは、以下の3通りのゾーン運転が可能です。

① 2センサによる
2ゾーン運転

② 1センサによる
2ゾーン運転

③ 1センサによる
1ゾーン運転

ただし、2ゾーンを別々の運転モードで設定することはできません。

「連続」運転モード

床内に設けられた温度センサによって、床内の温度が設定温度になるように通電します。従って、必ず温度設定を確認してから運転してください。

時間帯別電灯料金や従量電灯契約(昼間電力)の場合は、運転/停止スイッチを押して運転を停止するか、運転モードを切替えない限り運転しつづけますのでご注意ください。

「タイマ」運転モード

あらかじめタイマで設定された時間帯に、床内に設けられた温度センサによって、床内の温度が設定温度になるように温度調整をしながら運転をします。従って、このモードで運転する場合、タイマ設定と温度の設定が必要です。1ゾーン1日24時間以内で2つの運転時間帯を設定することができ、それぞれの時間帯を別の温度設定で運転することができます。

※「タイマ」運転モードは、従量電灯契約(昼間電力)を使用した床暖房(スミウォーマー)、または深夜電力や時間帯別電灯契約で深夜時間帯に運転する場合や、2ゾーンを従量電灯契約(昼間電力)と深夜時間帯運転する床暖房がある場合に適します。

「追加」運転モード

「タイマ」運転モード時に追加スイッチを押すとその時点からあらかじめ設定された追加通電時間内で、床内温度を設定温度になるように温度調整しながら運転をします。

追加通電時間終了後は、「タイマ」運転モードに自動的に戻ります。

「連続」運転モード時に追加スイッチを押すとその時点からあらかじめ設定された追加通電時間内で、床内温度を設定温度になるように温度調整しながら運転をします。

追加通電時間終了後は、自動的に運転を停止します。

運転開始操作

家庭用分電盤内の 床暖房用ブレーカーを ONにする

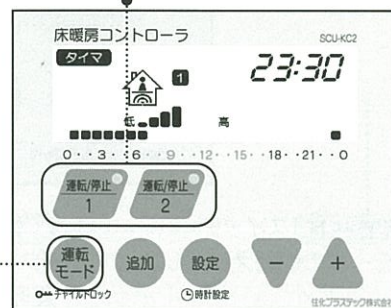
床暖房用ブレーカーをONにしてください。



コントロールユニット「SCU-KC2」を 運転状態にする

運転/停止スイッチを押して(表示灯が赤または緑に点灯)、運転モードスイッチを押して所定の運転モードを選択してください。

運転/停止スイッチ

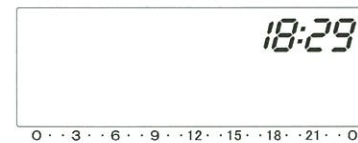


運転モードスイッチ

現在時刻の設定

暖房シーズンに入り、床暖房を運転する場合には必ず現在時刻の設定を行なってください。

1 床暖房用ブレーカーをONにし、コントローラの「運転/停止」スイッチ(運転/停止 1、運転/停止 2)を押して停止状態(表示灯消灯)にして、設定スイッチを押しつづけて、LCD表示器に「設定」画面を表示させます。



2 ▲ ▼ キーを押して、現在時刻の設定をしてください。(押しつづけると早送りできます)

設定終了後、設定スイッチを押すと、その時点が0秒としてスタートし、初期画面に戻ります。(60秒間設定スイッチを押さない場合も、現在時刻を設定して、停止状態に戻ります)

※時計機能は、24時間の停電補償を有しています。24時間以上電源が停止した時は、再度設定してください。

〈表示灯の状態〉

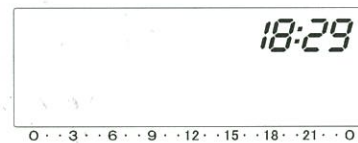
赤：運転中 緑：タイマ運転待機中(P.5参照)
消灯：停止中 点滅：異常発生(P.7参照)

チャイルドロックの設定

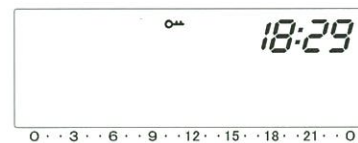
誤ってスイッチを押すと運転状態が変わる恐れがあります。そのような誤操作を防止するためには、チャイルドロック機能(2秒)の設定をお勧めします。

なお、設定(カギ型シンボル表示)後の各スイッチ操作は2秒間以上押さなければ受けつけられませんので、注意してください。

1 時刻設定操作の手順で、停止状態にします。



2 運転モードスイッチを押しつづけると、カギ型のシンボルマークが時刻表示の左に表示され、チャイルドロックがかかります。



3 解除は、運転モードスイッチを押しつづけるとチャイルドロックが解除されカギ型のシンボルマークが消えます。

運転モード選択操作

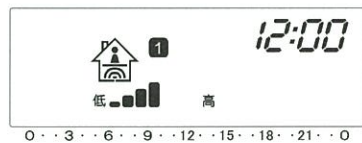
「連続」運転モードの設定

温度設定範囲は 28℃～40℃(高温用は 38℃～50℃) の2℃単位、7段階です。

- 1 床暖房用ブレーカーを「ON」にし、希望するゾーンの「運転・停止」スイッチ(運転/停止 1、運転/停止 2)を押して運転状態(表示灯が赤色に点灯)にします。



- 2 運転モードスイッチを押して、LCD表示器の画面を「連続」運転画面にします。



あらかじめ設定された温度で「連続」運転を開始します。設定温度を変更する場合には、運転状態にて③の手順を用います。

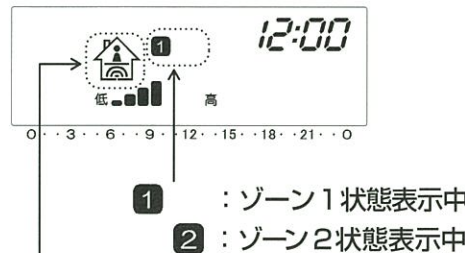
- 3 設定スイッチを押すと、「ゾーン1」の温度設定画面になります。



▲▼キーにより、床内温度を設定し、設定スイッチを押すと「ゾーン2」の温度設定画面に移ります。同様に▲▼キーによりゾーン2の床内温度を設定し、設定スイッチを押して10秒間スイッチを押さずに放置しておくと設定値が記憶され、「連続」運転画面に戻り設定に基づき運転します。(1センサの場合は「ゾーン2」はありません)

なお、設定作業中は、前の設定で運転します。

■連続運転時の表示



ヒータ通電状態を表示します。

通電中	停止中

運転中の画面には、ゾーン毎の通電状態が10秒毎に切り替りながら表示されます。

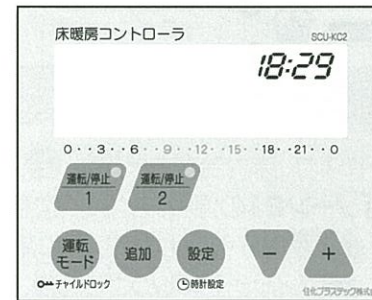
運転画面の右上に現在時刻が表示されます。なお床内温度が設定温度になると、通電を停止し、設定温度が下がると通電を開始します。(1センサ運転の場合は、状態表示は切り替りません。)

▲ご使用になられない時は、運転が停止していることをご確認ください。

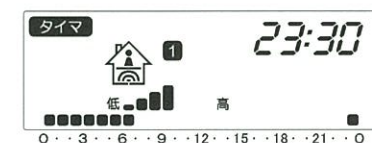
「タイマ」運転モードの設定

温度設定範囲は 28℃～40℃(高温用は 38℃～50℃) の2℃単位、7段階です。

- 1 床暖房用ブレーカーを「ON」にし、希望するゾーンの「運転・停止」スイッチ(運転/停止 1、運転/停止 2)を押して運転状態(表示灯が赤または緑色に点灯)にします。



- 2 運転モードスイッチを押して、LCD表示器の画面を「タイマ」運転画面にします。



あらかじめ設定された時間・温度で「タイマ」運転を開始します。各設定を変更する場合には、運転状態にて③～⑤の手順を用います。

- 3 設定スイッチを押すと、ゾーン1タイマの通電時刻/温度設定画面になります。



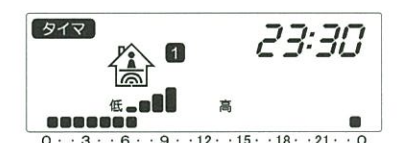
最初に、ゾーン1の1つめのタイマ「ゾーン1-1」の通電開始時刻を▲▼キーで設定し、設定スイッチを押し、通電停止時刻を▲▼キーで設定

します。次に、設定スイッチを押し、▲▼キーで温度設定をします。

- 4 引き続き、設定スイッチを押し、ゾーン1の2つめのタイマ「ゾーン1-2」の通電時間帯と床内温度を、上記方法で設定します。終了する場合は、設定スイッチを押して設定値を記憶させます。タイマ「ゾーン1-2」を使用しない場合は、通電開始時刻および通電停止時刻を同じ時間に設定してください。表示が「--:--」にかわります。

- 5 引き続き、設定スイッチが押されると「ゾーン2-1」、「ゾーン2-2」の設定画面に移りますので、同様に、ゾーン2の通電時間帯および床内温度を設定し、設定スイッチを押して10秒間スイッチを押さずに放置しておくと設定値が記憶され、「タイマ」運転画面に戻り、設定に基づき運転します。(1センサの場合はゾーン2はありません) なお、設定作業中は、前の設定条件で運転します。

■タイマ運転時の表示



運転中の画面には、ゾーン毎の通電状態が表示されます。右上には、現在時刻が表示されます。画面下部には、ゾーン毎にタイマ設定された通電時間帯が、ドット表示されます。通電時間帯でセンサ温度が設定温度になると、通電を停止し、設定温度が下がると通電を開始します。(1センサ運転の場合は、状態表示は変わりません)

「追加」運転の設定

通電時間および温度設定の変更方法

追加時間の設定範囲は1～120分です。

温度設定範囲は28～40℃(高温用は38～50℃)の2℃単位、7段階です。

1 床暖房用ブレーカーを「ON」にし、希望するゾーンの「**運転・停止**」スイッチ(運転停止1、運転停止2)を押して運転状態(表示灯が赤色に点灯)にします。



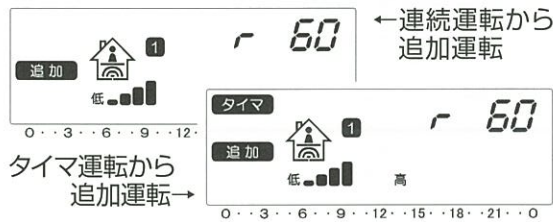
4 引き続き設定スイッチを押します。「ゾーン1」の温度設定画面になります。



▲▼キーにより、床内温度を設定し、設定スイッチを押すと「ゾーン2」の温度設定画面に移ります。同様に▲▼キーによりゾーン2の床内温度を設定し、設定スイッチを押すか、10秒間スイッチを押さずに放置しておくことで設定値が記憶され、「追加」運転画面に戻り設定に基づき運転します。

(1センサの場合は「ゾーン2」はありません) なお、設定作業中は、前の設定で運転します。

2 連続運転もしくはタイマ運転の状態を追加スイッチを押して、追加運転にします。



この時点から、あらかじめ設定された時間・温度で「追加」運転を開始します。各設定を変更する場合には、運転状態にて③、④の手順を用います。

3 追加運転状態で設定スイッチを押します。初めに追加時間が表示されます。(単位は分)



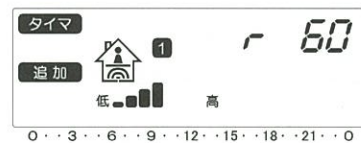
ゾーン1・2共を一度に設定します。(追加時間は、ゾーン1・2とも同じになります)

追加時間の設定変更は▲キーで加算(プラス)、▼キーで減算(マイナス)されます。

5 追加運転を途中で終わらせるには、再度追加スイッチを押すと追加運転前に戻ります。

■追加運転時の表示

追加運転中の画面には、右上に残り時間を表示します。

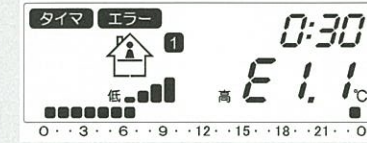


(1センサ運転の場合は、状態表示は変わりません。) 追加通電運転終了後は、自動的にタイマ運転モードであればタイマ運転モードになり、連続運転モードであれば、停止状態になります。

故障時の対応

床暖房システムに異常が生じた場合には、異常が生じたゾーンの「運転/停止」スイッチ内の表示灯(赤または緑色)が点滅したり、消灯すると共に、表示器のタイマ運転状態表示部の右に「エラー」と表示され、異常内容が右下に表示されます。異常が起きたゾーンのみ通電を停止します。

このような場合は、そのままの状態にして、できるだけ速やかにご求めの販売店にご連絡ください。



異常時は、以下の表示がでます。

異常内容	表示器の表示	「運転/停止」スイッチ内表示灯
床温度過昇	E1. □	点滅
センサ断線	E2. □	点滅
センサ短絡	E3. □	点滅
リレー融着(誤配線)	F1. □	点滅
メモリ異常	F2	点滅
時計異常	F3	点滅
内部温度異常	F4	点滅
高頻度開閉	F5. □	点滅

■定格・性能

定格電圧	1φ AC200V 50/60Hz	
電圧変動範囲	定格電圧 ±10%	
消費電力	4W 以下 (内部リレー ON 時)	
ヒーター容量	2.7kW 2系統	
警報接点	無電圧 1a AC200V 5A (抵抗負荷)	
使用温度範囲	-10℃~40℃	
使用湿度範囲	4.5~85RH (ただし結露のないこと)	
停電補償	時計	24時間
	制御関係	不揮発性メモリ
時計機能	24時間表示(月差60秒)	
タイマー	各系統 ON/OFF 1日2回	
温度センサー	サーミスタ 5kΩ(at25℃)	
質量	300g	